

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク

1 事業の成果

当法人としては青天の霹靂のような衝撃とともに、令和6年度を迎えました。これまで4年間にわたり文化庁の委託事業として実施してきた「ホスピタルシアタープロジェクト」に不採択という通知がもたらされたからです。理由は、新国立劇場等、大規模な他団体に比して、運営が脆弱というものでした。文化庁担当者も審査に当たった委員も、4年間一度も公演に足を運ぶこともなく、当たり前理由を突き付けられ、笑止千万という思いとともに、いかにこの困難を切り抜けるかを当法人は模索し、クラウドファンディングに挑むとともに、広く寄付を募りました。また、SDGs 岩佐賞〈芸術・スポーツ部門〉を受賞し（賞金200万円）、例年よりは規模を縮小しながらも、ホスピタルシアタープロジェクト2024として、新作「森の空き地」を創造し、東京&川崎をツアーするとともに、初めて売り公演として、福島県いわき市の大規模公立文化施設いわき芸術交流館アリオスでの公演ならびにアウトリーチを実施いたしました。

クラウドファンディングならびに東京&川崎でのツアーでは、長年にわたり毎年参加されているご家族から、「頑張って、ぜひとも継続してほしい」という多くの声が寄せられました。また、障害者差別禁止法、障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の施行を受けて、公的資金によって運営される公立文化施設の担当者からの問い合わせ、視察が増えています。施設のバリアフリー化のみならず、創造作品においてインクルーシブなものを提供することが求められている証左でもあるのでしょうか。少人数制で手厚いケアと美しく楽しい体験を届けることの重要性を強く認識するとともに、このような活動の重要性を広く伝えることができないもどかしさ、苛立ちを覚えています。SDGs 岩佐賞の受賞は自信を与えてくれるものではありません。令和7年度、委託額を大きく減額されての採択となりました。文化庁等の求めるものとのズレについて、今後、検証していきたいとも考えています。

令和6年度は、2019年度以来初めて、海外講師を招聘してのシンポジウムとワークショップを主催いたしました。文化庁文化芸術費補助金（舞台芸術等総合支援事業（芸術等人材育成））／日本芸術文化振興会の助成を得て、「劇場と舞台芸術の〈ケア〉する力」と題し、リーズ・プレイハウスのチーフ・エグゼクティブ&芸術監督ジェームス・ブライニング氏を招聘いたしました。ブライニング氏と当法人の関係は四半世紀以上にわたるものです。「インクルーシブ」であり、「ハラスメントのない」劇場づくりのための英国演劇の視野と試みは、まさに彼の経験とキャリア形成そのものであり、リアリティと自信に満ち、示唆に富む講演を提供してくださいました。講演の記録は、映像配信するとともに、私どもの機関誌に掲載いたしました。

機関誌シアター&ポリシーは、メール便の高騰により、今年度より年4回の発行となりました。ネットへの掲載、メールによる配信等の選択肢も検討していますが、目下のところは、印刷物の良さを鑑み、継続を期しております。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【4370】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
舞台芸術の福祉分野における普及にかかわる事業	ホスピタルシアタープロジェクト 2024 「森の空き地」 すべての子どもたちと家族のための多感覚演劇の創造と巡演	2024 年 12 月～ 2025 年 2 月	新宿、木場、川崎、いわき、多摩センター、西八王子	20 名	障がい児、医療的ケア児とその家族、芸術、教育、福祉従事者	210 名	3028
舞台芸術の福祉分野における普及にかかわる事業	劇場と舞台芸術の＜ケア＞する力	2024 年 8 月 3 日、4 日	新宿、オンライン	4 名	公立文化施設担当者、アートマネジャー、研究者、学生他	100 名	1178
舞台芸術、文化政策、アートマネジメント、芸術教育の振興ならびに普及にかかわる事業	ワークショップを作ってみよう。	2025 年 1 月～3 月	ふじみ野ステラウエスト&イースト	1 名	ふじみ野市民他	8 名	7
ニュースレター及び報告書の発行にかかわる事業	機関誌「シアター&ポリシー」(A4 判、8 頁)の編集・発行	年 4 回	事務所	5 名	芸術家、アートマネジャー、市民団体、研究者、大学等	定期購読者 180 名 ネットでの閲覧者不特定多数	130

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

該当する事業は実施しておりません。